

平成31年度 入学者選抜要項

環境科学部

環境生態学科
環境政策・計画学科
環境建築デザイン学科
生物資源管理学科

工学部

材料科学科
機械システム工学科
電子システム工学科

人間文化学部

地域文化学科
生活デザイン学科
生活栄養学科
人間関係学科
国際コミュニケーション学科

人間看護学部

人間看護学科

公立大学法人



滋賀県立大学

THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

目 次

大学の目標／教育の特色	1
Ⅰ 学生受入方針(アドミッション・ポリシー)	2
Ⅱ 入学者選抜における変更内容	14
Ⅲ 入学定員と募集人員	16
Ⅳ 一般選抜試験(一般入試)	17
Ⅴ 特別入試	
A 推薦入試	26
B 帰国子女特別入試	34
C 私費外国人留学生特別入試	38
Ⅵ 心身に障がい等のある入学志願者との事前相談	40
Ⅶ 学生募集要項の発表時期および請求方法	40
入学資格審査の手続き	42

問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町2500

滋賀県立大学教務課入試室

TEL:0749-28-8217・8243

FAX:0749-28-8472

E-mail:nyushi@office.usp.ac.jp

大学の目標

滋賀県立大学は、滋賀県における学術の中心として、未来を志向した高度な学芸と、悠久の歴史や豊かな自然、風土に培われた文化を深く教授研究するとともに、新しい時代を切り拓く広い視野と豊かな創造力、先進的な知識、技術を有する有為の人材を養成することを目的としています。

また、開かれた大学として、県民の知的欲求に応える生涯学習の機会の提供や地域環境の保全、学術文化の振興、産業の発展、人間の健康など、滋賀県の持続的発展の原動力として大きく寄与することを使命としています。

この大学設置の基本理念を踏まえ、次の基本的な目標を定めています。

- ・「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」という開学当初からのモットーをより一層発展させ、琵琶湖を抱く滋賀ならではの教育研究をさらに進めます。
- ・時代の流れを先取りし、先駆的・戦略的なものの見方ができる、進取の気性に富む人が育つ大学づくりを進めます。
- ・グローバル化の進展等による国際化の諸問題に対応する新しい時代に向けたモデルとなる大学を目指します。

教育の特色

(1) 4年一貫教育

より確かな知識と技術の修得を目指し、各学部別にその目的に従った個性的な教育を系統的に実施するため、専門科目を4年間にわたって一貫して編成する完全な4年一貫教育を実施します。これにより、それぞれの学部に入學した学生は、1年次から専門分野の講義を受けることができます。

(2) 目標を明確にした基礎教育の重視

全学部に通ずる全学共通基礎科目、学部の専門的な共通基礎科目、および学科の基礎科目が、すべて各学部・学科の教育目標に合わせて選ばれており、最も適切な年次に学ぶことができるようになっています。

(3) 人間を深く見つめる「人間学」

全学共通科目の中で、人間・環境・社会・文化を知る「人間学」が4年間いつでも履修できます。目まぐるしく変化する現代社会の中で、人間と環境、社会、文化を深く理解し、人間というものを深く見つめ、生き方を探るのが「人間学」です。人間探求学を1年次の必修とし、入門・概説ではなく、現実の問題に立論して、ひとつの見解に達するまでのプロセスを追求する様々な科目を選択科目としています。

(4) 変革力を身につける「地域教育」

地域と大学が人材を共育し、地域を共創する自立圏域「びわ湖ナレッジ・コモンズ」の形成をめざし、地域課題に対する教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。地域教育では、全学共通科目の地域基礎科目、各学部学科の地域志向専門科目、全学部生が選択可能な地域学副専攻を通して地域課題とその解決法について体系的に学び、コミュニケーション力、構想力および実践力を兼ね備えた変革力を身につけることを目指します。

(5) 少人数による対話・討論型の授業

教員と学生の日常的な触れ合いを重視するという基本方針のもとに、フィールドワークや実験・実習などにおいて、少人数による対話・討論型の授業が多くあります。

例えば、1年次の必修科目である「人間探求学」は、学科ごとに5、6名のグループに分け、大学で学ぶために必要な能力を養うことをねらいとし、教育の原点である人間と人間のふれあいの機会を提供しています。

(6) 他学部・他学科の履修

学生の多様な学習意欲に応えるために、学部・学科の多様性を生かし、他学部、他学科で修得した単位を卒業単位として認定し、より幅の広い人材の育成を目指します。

I 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

全学の受入方針

滋賀県立大学は、環境科学部、工学部、人間文化学部、人間看護学部の4学部からなり、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、「環境」と「人間」をキーワードにした「人が育つ」大学として、平成7年に設立されました。琵琶湖に隣接し、緑豊かな自然環境のなかで、近江の歴史や多様な文化・産業を背景に、「地域に根ざし、地域に学ぶ」実践的教育が展開されています。

本学の学生は各学部・学科が掲げている人材養成の目標に向かって、体系的に配置された授業科目を段階的に学びながら自己形成に努めます。この教育目標を達成するために、必要な基礎学力を基盤にして、積極的に学び、自らの将来像の実現を目指そうとする意欲的な学生を求めます。そのため、本学では次の3種類の入学試験を行っています。

- (1) 一般入試・前期日程（センター試験と個別学力試験を併用した、幅広い基礎学力についての選抜試験）
- (2) 一般入試・後期日程（センター試験と学科の専門を反映させた個別試験を併用した、専門分野に関わる学力、適性、学習意欲についての選抜試験）
- (3) 特別入試（推薦入試 A、B、C）（総合問題、実技試験あるいはセンター試験と面接を併用した、学力および適性や学習意欲についての選抜試験）

さらに、特別入試（帰国子女特別入試、私費外国人留学生特別入試）を実施し、多様な学生の受け入れに努めています。

環境科学部

環境生態学科

環境生態学科では、自然科学に関する専門知識と技術を基盤として、自然と人間が複雑に関わりあう環境での問題を発見し、その科学的解決法を主体的かつ積極的に提案できる人材を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 自然環境に対する知的好奇心や探究心を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲を有する人（関心・意欲）
- ② 自然科学に関する高度な専門知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
- ③ 高い洞察力を身につけるために必要な基礎力をもつ人（思考力・判断力）
- ④ なお、本学科はフィールドサイエンスを主体として、教育活動を行っています。そのため、厳しい野外調査を途中で投げ出さず、最後までやりきるための努力を惜しまない人、すなわち、たくましい人間性を持ち、柔軟な思考ができる学生を求めます。

2. 入学者選抜の基本方針

環境生態学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに高校教育や日常生活によって培われた論理的思考力・判断力あるいは自然科学への関心・意欲と本学科への適応性について評価します。このため、一般入試（前期日程、後期日程）と特別入試を実施し、それぞれ、大学入試センター試験、個別学力試験、個別面接の中から2つを組み合わせて課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試（前期日程）では、自然科学に関する知識と論理的思考力に加えて、環境科学を学ぶ上で必要な基礎学力を重視します。このため、大学入試センター試験（国語・地歴公民・数学・理科・英語）と個別学力試験（数学・理科）を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試（後期日程）では、自然科学に関する知識と論理的思考力に加えて、環境科学を学ぶ上で必要な基礎学力を重視します。このため、大学入試センター試験（国語・地歴公民・数学・理科・英語）と個別学力試験（理科）を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A、C）では、自然科学を学ぶ上で必要な基礎学力および洞察力に加え、本学科への適応性や学習意欲を、求める学生像①、④に基づいて評価します。このため、総合問題（英語、理系総合問題、文系総合問題）に加え、個別面接を課します。

環境政策・計画学科

環境政策・計画学科では、環境と調和した社会を形成するために、社会を形成している企業、政府、市民の行動を環境調和型に変革していく人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 人間社会と自然環境の広い範囲にわたって関心を有する人（興味・関心・意欲）
- ② 環境政策や環境計画を学ぶ上で必要な国語・数学・英語・理科・地歴公民の基礎学力を有する人（知識・理解）
- ③ 見出された問題の解決に向けて論理的に思考できる基礎力を有する人（思考力・判断力）

2. 入学者選抜の基本方針

環境政策・計画学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた、興味・関心・意欲についても評価します。このため、一般入試（前期日程と後期日程）と特別入試を実施します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力を評価します。このため、大学入試センター試験（国語・数学・英語・理科・地歴公民）と個別学力試験（英語あるいは数学）を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力と興味・関心・意欲を評価します。このため、大学入試センター試験（国語・数学・英語・理科・地歴公民）と個別学力試験（総合問題）を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、興味・関心・意欲を評価します。このため、大学入試センター試験（国語・数学・英語・理科・地歴公民）と個別面接を課します。

環境建築デザイン学科

環境建築デザイン学科では、持続可能な社会の建設のために、建築学を基礎に、建築を巡る環境や地域が抱える問題を発見、理解し、解決する能力を有する人材を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 高度な専門知識を身につけるために必要な数学、理科、英語、国語、地理歴史・公民の基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 環境建築デザインや地域社会の創造に強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を持つ人（関心・意欲）
- ③ 都市、地域、景観、防災、資源、エネルギー、世界規模の問題まで広範な関心を持ち、人と協調する力を有する人（協働性）
- ④ 見出された問題に対して論理的に思考し、その解決に向けて創造する基礎力を有する人（思考力・判断力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

環境建築デザイン学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた関心・意欲、協働性、思考力・判断力・表現力についても評価します。このため、一般入試（前期課程・後期課程）と特別入試（推薦入試A、C）を実施し、それぞれ大学入試センター試験、個別学力試験、造形実技試験、個別面接の中から複合的に課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試（前期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を評価します。このため大学入試センター試験（国語・数学・英語・理科・地歴公民）と個別学力試験（数学・英語・理科）を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試（後期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力・表現力を評価します。このため大学入試センター試験（国語・数学・英語・理科・地歴公民）と造形実技試験を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、協働性を評価します。このため大学入試センター試験（国語・数学・英語・理科・地歴公民）と個別面接を課します。

特別入試（推薦入試C）では、関心・意欲、協働性、思考力・表現力を総合的に評価します。このため個別面接（プレゼンテーションを含む）を課します。

生物資源管理学科

生物資源管理学科では、動植物の生産や病害虫からの保護、土壌・水資源の保全と活用、生物機能を利用した物質生産や環境改善など、農林水産業に関わる生物資源の管理と活用に関する基本的な知識と技術を有する人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 高度な専門的知識を身につけるために必要な理科、数学、外国語等の基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 農林水産業や地域環境に強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を持つ人（関心・意欲）

- ③ 地域社会から世界規模の問題まで広範な関心を持ち、人と協力して問題を解決する力を有する人（協働性）
- ④ 見出された問題の解決に向けて論理的に思考できる基礎力を有する人（思考力・判断力）

2. 入学者選抜の基本方針

生物資源管理学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力、関心・意欲、協働性についても評価します。このため、一般入試（前期日程、後期日程）と特別入試を実施し、それぞれ大学入試センター試験、個別学力試験、面接の中から2つを組み合わせる課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程・後期日程）】

一般入試では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入試センター試験（国語・数学・英語・理科・地歴公民）と個別学力試験（数学・理科）を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、思考力・判断力、協働性を評価します。このため、総合問題（英語、理系総合問題、文系総合問題）に加え、面接を課します。

工学部

材料科学科

材料科学科は、環境と調和した持続可能な人間社会の構築を目指し、科学技術に裏打ちされた材料の進歩に貢献できる、研究者・技術者の養成を目的としています。そのため本学科では、学問の基礎の理解と実験や演習などの実践を重視し、無機から有機までの幅広い物質、新エネルギー材料や環境材料などの様々な用途について、基礎から応用にわたる多面的な教育・研究を行い、“モノづくり”や新材料に興味を持ち、自己の能力向上に努める人材の育成を行います。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 無機から有機までの幅広い物質、新エネルギー材料や環境材料などの様々な領域に強い関心と学びに対する意欲があり、自らの明確な目標設定を継続して行える素養のある人（関心・意欲）
- ② 数学、理科（物理と化学）、国語、英語、地理歴史・公民の科目に関して、材料に関する研究者・技術者となるための専門的内容と判断力の修得に必要な高等学校理系卒業レベルの学力を有する人（知識・理解）
- ③ 今までに得た知識・教養・経験を組み合わせ考える力（応用力）を持ち、また材料開発や新たな現象を類推する力（創造力）の素地があり、科学に対する思考を深めて適切に判断できる能力を伸ばす素養を有する人（思考力・判断力）
- ④ 問題解決のために、積極的に討議の場に参加でき、与えられた課題に対して論理的に相手を説得でき、リーダーシップを発揮する素養を有する人（積極性・論理的説得力・リーダーシップ力）
- ⑤ 他の人と協働して課題解決に向けた取り組みができ、得られた成果あるいは自分の考えについて自らの言葉で的確に表現し、相手に伝える能力を伸ばす素養を有する人（協働力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

材料科学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、調査書も参考にしながら高等学校教育や日常生活によって培われた関心・意欲・思考力・判断力・積極性・論理的説得力・協働力・リーダーシップ力・表現力についても評価します。このため、一般入試（前期日程・後期日程）と特別入試（推薦入試A、B）を実施し、それぞれ大学入試センター試験、個別学力試験、グループ討論、個別面接（口頭試問含む）のいくつかを組み合わせた入学試験を課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程・後期日程）】

一般入試では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力・積極性・論理的説得力・協働力・リーダーシップ力・表現力を重視します。このため、大学入試センター試験〔国語・数学・英語・理科（物理と化学）・地歴公民〕と個別学力試験〔数学・理科（物理と化学）〕に加え、調査書も参考にしながらグループ討論を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A、B）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、思考力・判断力・表現力を評価します。このため、大学入試センター試験と個別面接を課します。大学入試センター試験では、特別入試（推薦入試A）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民を、特別入試（推薦入試B）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）をそれぞれ課します。個別面接については調査書も含めて評価します。

機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の基礎とシステム的なセンスを備え、高機能な機械を設計・開発でき、柔軟な発想能力の備わった技術者の養成を目指しています。そのために、機械工学の基幹となる熱力学、流体力学、材料力学、機械力学に、制御工学、情報処理基礎、メカトロニクス、生産工学などの幅広い科目を加え、さらに多くの演習や実験を取り入れたカリキュラムによって、基礎から応用にわたる多面的な教育を行います。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 機械とそのシステム、力学、ものづくり、ならびにこれらと自然環境、社会、人間との関わりに強い関心を持ち、自己の能力向上に対する意欲を持つ人（関心・意欲）
- ② 基礎学力として、高等学校で履修する数学、理科（特に、物理と化学）、国語、英語、地歴公民の各科目において、高等学校理系卒業レベルの学力を備える人（知識・理解）
- ③ 今までに得た知識・教養・経験を組合せて適切に思考・判断でき、その結果や自分の考えを相手に伝えることができる素養を有する人（思考力・判断力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

機械システム工学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、確かな基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力・表現力、関心・意欲についても評価します。このため、一般入試（前期日程・後期日程）と特別入試（推薦入試A、B）を実施し、それぞれ大学入試センター試験と個別学力試験、大学入試センター試験と個別面接を課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程・後期日程）】

一般入試では、幅広い分野の確かな基礎学力（知識・理解）を重視します。また、これに加えて思考力・判断力も評価します。このため、大学入試センター試験〔国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民〕、個別学力試験（数学・物理）を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試 A、B）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、思考力・判断力・表現力を評価します。このため、大学入試センター試験と個別面接を課します。まず、大学入試センター試験では、特別入試（推薦入試 A）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民を、特別入試（推薦入試 B）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）をそれぞれ課します。また、個別面接については調査書も含めて適性もみながら評価します。

電子システム工学科

電子システム工学科は、電気・電子・情報工学分野で基礎から応用まで幅広い知識と高度な技術をもつとともに、豊かな人間性とコミュニケーション力および問題解決力を身につけた、地域はもとより世界に通用する創造力豊かで自律した技術者の育成を目指しています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 国語、地理歴史・公民、数学、理科（物理と化学）、英語の科目に関して、電気・電子・情報工学分野の技術者に要求される専門知識・能力および教養を身につけるために必要となる、高等学校理系卒業レベルの基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 電気・電子・情報工学分野の課題を設定・遂行・解決する能力を身につけるために必要となる、高等学校理系科目（数学と物理）の思考力を有する人（思考力・判断力）
- ③ 自律した技術者に求められる情報伝達・発信力と協働性を身につけるために必要となる、基礎的なコミュニケーション力を有する人（協働性）
- ④ 電気・電子・情報工学分野に夢や魅力を感じ、基礎から応用まで幅広い素養を身につけて積極的に活躍していきたい人、知的好奇心をもって常に新しいことに挑戦し、専門分野を通して積極的に社会に貢献していきたい人（関心・意欲）

2. 入学者選抜の基本方針

電子システム工学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活で培われた「思考力・判断力」と「協働性、関心・意欲」のどちらかについても評価します。このため、一般入試（前期日程、後期日程）と特別入試（推薦入試 A、B）を実施し、大学入試センター試験および個別学力試験と個別面接のどちらかを組み合わせた試験を課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程・後期日程）】

一般入試では、高等学校理系卒業レベルの確かな基礎学力（知識・理解）と数学および物理の深い思考力・判断力を評価します。このため、大学入試センター試験【国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民】と個別学力試験【数学・理科（物理）・英語（前期日程のみ）】を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試 A、B）では、高等学校理系卒業レベルの確かな基礎学力（知識・理解）と協働性、関心・意欲を評価します。このため、高等学校等での学習内容にも考慮しながら、大学入試センター試験【国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民】と個別面接を課します。個別面接では調査書も含めて適性も勘案して評価します。

地域文化学科

地域文化学科では、日本、特に近江の歴史・文化・社会、およびアジアとの交流に強い関心を持ちながら自ら行動し、社会貢献の一環として学んだことを地域に還元し、科学的な目で地域を見つめてこれからの地域のありかたを探求する意欲と、問題解決能力を持ち、独創的な発想ができる人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 地域社会の過去と現在の諸問題を学ぶために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 地域社会の諸問題について、学んだことをふまえて論理的に考え、判断する基礎力のある人（思考力・判断力）
- ③ 歴史・文化・社会に強い関心を持ち、自ら学ぶ強い意欲のある人（関心・意欲）
- ④ ローカルな問題からグローバルな問題まで広い関心を持ち、自らの考えを相手に伝え、多様な人々と交流できる人（表現力・協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

地域文化学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力(知識・理解)を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力、関心・意欲、表現力、協働性についても評価します。このため、一般入試(前期日程・後期日程)と特別入試(推薦入試)を実施し、それぞれ、大学入試センター試験、個別学力試験、面接を組み合わせる課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試(前期日程)では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入試センター試験（数学/理科から1教科と国語・外国語・地歴公民）と個別学力試験(国語・英語)を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試(後期日程)では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力・表現力を評価します。このため、大学入試センター試験(国語/数学/理科から1教科と外国語・地歴公民)と個別学力試験として小論文を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試(推薦入試A、C)では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲・協働性を評価します。このため、総合問題（英語、文系総合問題)と面接を課します。

生活デザイン学科

生活デザイン学科では、人間に身近な生活環境の問題を発見し、その解決策を考え、社会に活躍できる人の育成を目指しています。この教育理念に沿って、人間に身近な生活環境としての住居、道具、服飾のデザインの理論と実践を学び、身近な生活環境を観察・分析して問題を発見し、その解決策を造形的・論理的に表現できる能力を身につけ、地域はもとより広く社会の発展に貢献できる人材の育成を、教育目標に掲げています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 高度な専門的知識を身につけるための基礎学力を持っている人（知識・理解）
- ② 柔軟かつ論理的に問題を解決する基礎力を持っている人（思考力・判断力）
- ③ 身近な生活環境に対する関心と観察力を持っている人（興味・関心、観察力）

- ④ 表現行為に興味を持ち主体的に創意工夫のできる人（表現力）
- ⑤ 積極的行動力を身につけるための基礎力をもつ人（行動力）

2. 入学者選抜の基本方針

生活デザイン学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに高校教育や日常生活によって培われた、思考力・判断力、興味・関心、観察力、表現力、行動力についても評価します。このため一般入試（前期日程と後期日程）と特別入試を実施し、大学入試センター試験、個別学力試験、個別実技試験、個別面接を課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入試センター試験（国語・数学・外国語・理科・地歴公民）と個別学力試験[英語・国語（現代文）]を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と観察力、表現力を重視します。このため、大学入試センター試験（国語/数学/理科/地歴公民から3教科・外国語）と個別実技試験（デッサン）を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試 A、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）と興味・関心、行動力を重視します。このため、大学入試センター試験（国語/数学/理科/地歴公民から3教科・外国語）と個別面接を課します。

生活栄養学科

生活栄養学科は、食物を介して栄養が健康に寄与するという認識を基盤として、人の健康に貢献する高度な専門職業人の育成を目的としています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 食、栄養、運動、健康の関わりに興味を持ち、自己の能力向上ならびに社会的貢献に意欲のある人（関心・意欲）
- ② 自分が伝えたいことを相手に表現し、協働できる力を有する人（表現力・協働性）
- ③ 栄養学を学ぶために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
- ④ 今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる力のある人（思考力・判断力）

2. 入学者選抜の基本方針

生活栄養学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに高校教育や日常生活によって培われた、思考力・判断力、関心・意欲、表現力・協働性についても評価します。このため一般入試（前期日程と後期日程）と特別入試を実施し、それぞれ大学入試センター試験と個別学力試験、大学入試センター試験と個別面接を課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

大学入試センター試験は5教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。個別学力試験では、栄養学を学ぶうえで基盤となる化学と英語について、より深い「知識・理解」と「思考力・判断力」を評価します。

【一般入試（後期日程）】

大学入試センター試験は5教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。個別学力試験では、栄養学を学ぶうえで基盤となる理科科目について、より深い「知識・理解」と「思考力・判断力」を評価します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A）では、大学入試センター試験は5教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。個別面接では、「関心・意欲」、「表現力」、「協働性」を合わせて評価します。

人間関係学科

人間関係学科では、人間関係を生涯にわたって発達・変化していくものとして柔軟に捉え、自身と共同体との関わりについて考え続けるための総合的教育を行っています。入学後には、人間関係への興味・関心を持ち、さまざまな環境における人間どうしのあり方を記述し、実践的にとらえ直すことが中心課題となります。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① さまざまな共同体で生じる問題に取り組むための基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 自他の体験を客観的に記述し、とらえ直す力を有する人（思考力・構成力）
- ③ さまざまな発達段階・環境における人と人との関わりに関心を持ち、自ら学ぶ強い意欲を有する人（関心・意欲）
- ④ 自分の考えや意見を表現し、相手に伝えるための基礎的な能力を有する人（読解力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

人間関係学科の選抜試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、大学生活の中で人間関係のあり方を記述しとらえ直すための関心・意欲、思考力、表現力を選抜基準とします。このため、一般入試（前期日程・後期日程）と特別入試を実施し、それぞれ、大学入試センター試験、個別学力試験、個別面接の中から2つを組み合わせて課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試（前期日程）では、高等学校までの基礎学力（知識・理解）と思考力を重視します。このため、センター試験（国語・数学・外国語・理科・地歴公民）と個別学力試験[英語・国語（現代文）]を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試（後期日程）では、高等学校までの基礎学力（知識・理解）と表現力、特にことばを介した構成力と読解力を重視します。このため、センター試験（国語/数学/理科/地歴公民から2教科・外国語）と個別学力試験（小論文）を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A）では、高等学校までの教育課程とともに、思考力と判断力、および柔軟な興味と関心を持つ力を重視し、総合問題（英語、文系総合問題）と個別面接を課します。

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、グローバル化する現代社会において、広く活躍できる見識とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目標としています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 英語もしくは他の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、モンゴル語など）について高い運用能力を身につけるために必要な語学力を有する人（知識・理解、技術・技能）
- ② 幅広い知識や教養の基盤となる国語、地理歴史または公民、数学または理科についての基礎学力を有する人（知識・理解）
- ③ 本国および諸外国の社会・文化・歴史等への強い関心と学習への意欲を有する人（関心・意欲）
- ④ 自分の考えや意見を積極的に提示し、相手の理解を得るための基礎的な能力を有している人（表現力）
- ⑤ グローバル化によって発生する課題について、人々との交流を通して、自らの見解を形成しようとする姿勢を有する人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

国際コミュニケーション学科の入学試験では、基礎学力（知識・理解）を重視するとともに、外国語（特に英語）の運用能力（語学力）を重要な評価ポイントとします。さらに、関心・意欲、表現力、協働性についても評価します。このため、一般入試（前期日程・後期日程）と特別入試を実施し、それぞれ、大学入試センター試験、個別学力試験、総合問題、個別面接を組み合わせて課します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入試センター試験（数学/理科から1教科・国語・外国語・地歴公民）と個別学力試験【英語・国語（現代文）】を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入試センター試験（国語・英語・地歴公民）と個別学力試験（小論文）を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲ならびに表現力と協働性を重視します。このため、総合問題（英語・文系総合問題）と個別面接を課します。

人間看護学部では、多面的な視野に立って人間と健康に関わる問題を解決し、地域に貢献できる看護職者を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 人間に対する関心をもち、対人関係の基礎的能力を有する人（表現力・協調性）
- ② 生命、医療、看護に対して強い関心をもち、自ら学ぼうとする意欲を有する人（意欲・探求力）
- ③ 高度な専門的知識を身につけるために必要な確かな基礎学力を有する人（知識・理解）
- ④ 見出された課題解決に向けて論理的に思考できる基盤を有する人（思考力・判断力）
- ⑤ 地域社会から国際社会の問題まで広範な関心をもち、人と協働する力を有する人（関心・協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

人間看護学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校での教育や日常生活により培われた意欲・探求力、表現力・協調性、関心・協働性、思考力・判断力についても評価します。このため、一般入試（前期日程と後期日程）と特別入試（推薦入試）を実施し、それぞれ、大学入試センター試験、個別学力試験、グループ討論、面接の中から2つを組み合わせて課します。また、現に看護職である人や看護学生を対象に第3年次編入学試験を実施します。

3. 選抜方法

【一般入試（前期日程）】

一般入試（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力を評価します。このため、大学入試センター試験（国語・地歴公民・数学・理科・外国語）と個別学力試験（英語）を課します。

【一般入試（後期日程）】

一般入試（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、表現力・協調性を評価します。このため、大学入試センター試験（国語・地歴公民・数学・理科・外国語）に加え、個別入学試験としてグループ討論を課します。

【特別入試（推薦入試）】

特別入試（推薦入試A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、意欲・探求力、表現力・協調性、関心・協働性、思考力・判断力を評価します。このため、総合問題（英語、文系総合問題、生物）に加え、グループ討論を課します。

帰国子女特別入試 ・ 私費外国人留学生特別入試 学生受入方針

本学は、地域に根ざしながら、世界に開かれた大学となることを目指して、多様な学生の受け入れを推進しています。

1. 求める学生像

- ① 各学科の専門領域を学ぶために必要な基礎学力、さらに幅広い教養の基盤となる基礎学力を有する人（知識・理解、技術・技能）
- ② 各学科の専門領域への強い関心と学習への意欲を有する人（関心・意欲）
- ③ 今までの学習や体験に基づいて自分の考えや意見を積極的に提示し、相手の理解を得るための基礎的な能力を有している人（表現力）
- ④ 地域社会や国際社会で、人々と協働して問題を見つけ解決するために必要な基礎的なコミュニケーション能力を有する人（思考力・判断力・協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

帰国子女特別入試

大学入試センター試験、総合問題、調査書、面接など、各学科の定める入学者選抜方法により、「求める学生像」との合致性を総合的に判断して選抜します。

私費外国人留学生特別入試

日本留学試験（独立行政法人日本学生支援機構により実施）、個別学力試験、面接など、各学科の定める入学者選抜方法により、「求める学生像」との合致性を総合的に判断して選抜します。

Ⅱ 入学者選抜における変更内容 (平成30年度入学者選抜からの変更点)

【特別入試】(推薦入試)

① 生活デザイン学科において地域等の条件がない「推薦入試C」を実施します。

- ・人間文化学部生活デザイン学科の推薦入試において、地域等の条件※を付さない選抜試験(推薦入試C)を実施します。
- ・推薦入試Cに出願できる者は、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としてします。
- ・なお、出身学校長が推薦できる人数は、推薦入試A、Cを含め2名までとします。

※ 地域等の条件…次のいずれかに該当する者

- ① 滋賀県内の学校を平成30年度中に卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者
- ② 入学の1年前(平成30年4月1日)から引き続き本人または保護者(親権者)が滋賀県内に居住している者

(平成30年度入学者選抜)

学 部 名	入学定員	募 集 人 員						
		一 般 入 試		特 別 入 試				
		前期日程	後期日程	推薦入試A	推薦入試B	推薦入試C	帰国子女	私費外国人留学生
人間文化学部	200人	100人	60人	40人	—	—	—	—
地域文化学科	60人	30人	18人	12人	—	若干名	若干名	若干名
生活デザイン学科	30人	15人	9人	6人	—	—	若干名	若干名
生活栄養学科	30人	15人	9人	6人	—	—	若干名	若干名
人間関係学科	30人	15人	9人	6人	—	—	若干名	若干名
国際コミュニケーション学科	50人	25人	15人	10人	—	—	若干名	若干名



(平成31年度入学者選抜)

学 部 名	入学定員	募 集 人 員						
		一 般 入 試		特 別 入 試				
		前期日程	後期日程	推薦入試A	推薦入試B	推薦入試C	帰国子女	私費外国人留学生
人間文化学部	200人	100人	60人	40人	—	—	—	—
地域文化学科	60人	30人	18人	12人	—	若干名	若干名	若干名
生活デザイン学科	30人	15人	9人	6人	—	若干名	若干名	若干名
生活栄養学科	30人	15人	9人	6人	—	—	若干名	若干名
人間関係学科	30人	15人	9人	6人	—	—	若干名	若干名
国際コミュニケーション学科	50人	25人	15人	10人	—	—	若干名	若干名

② 人間文化学部生活栄養学科の「推薦入試A」における大学入試センター試験の利用科目・配点および面接の配点を次のとおり変更します。

(平成30年度入学者選抜)

大学入試センター試験の利用教科・科目等		大学入試センター試験の配点等						面接
		国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	合計	
国語	「国」	50	50	100	100	100	400	100
地歴 公民	「世B」、「日B」、「地理B」 「倫・政経」							
数学	「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1							
理科	「物」、「化」、「生」から1							
外国語	「英」							
(5教科5科目)								



(平成31年度入学者選抜)

大学入試センター試験の利用教科・科目等		大学入試センター試験の配点等						面接
		国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	合計	
国語	「国」	<u>100</u>	50	100	100	100	<u>450</u>	<u>200</u>
地歴 公民	「世B」、「日B」、「地理B」 「倫・政経」							
数学	「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から2							
理科	「物」、「化」、「生」から2							
外国語	「英」							
(5教科7科目)								

●表中の教科・科目名及び注意事項等については、33ページに記載があります

Ⅲ 入学定員と募集人員(平成31年度入学者選抜)

学 部 名	学 科 名	入学定員	募 集 人 員						
			一 般 入 試		特 別 入 試				
			前期日程	後期日程	推 薦 入 試			帰国子女	私費外国人 留学生
A	B	C							
環 境 科 学 部		180 人	82 人	55 人	36 人	—	7 人	—	—
	環境生態学科	30 人	11 人	10 人	6 人	—	3 人	若干名	若干名
	環境政策・計画学科	40 人	16 人	12 人	8 人	—	4 人	若干名	若干名
	環境建築デザイン学科	50 人	25 人	15 人	10 人	—	若干名	若干名	若干名
	生物資源管理学科	60 人	30 人	18 人	12 人	—	—	若干名	若干名
工 学 部		150 人	70 人	50 人	30 人	—	—	—	—
	材料科学科	50 人	20 人	20 人	10 人	若干名	—	若干名	若干名
	機械システム工学科	50 人	25 人	15 人	10 人	若干名	—	若干名	若干名
	電子システム工学科	50 人	25 人	15 人	10 人	若干名	—	若干名	若干名
人 間 文 化 学 部		200 人	100 人	60 人	40 人	—	—	—	—
	地域文化学科	60 人	30 人	18 人	12 人	—	若干名	若干名	若干名
	生活デザイン学科	30 人	15 人	9 人	6 人	—	若干名	若干名	若干名
	生活栄養学科	30 人	15 人	9 人	6 人	—	—	若干名	若干名
	人間関係学科	30 人	15 人	9 人	6 人	—	—	若干名	若干名
	国際コミュニケーション学科	50 人	25 人	15 人	10 人	—	—	若干名	若干名
人 間 看 護 学 部		70 人	40 人	10 人	20 人	—	—	若干名	—
	人間看護学科								
計		600 人	292 人	175 人	126 人	—	7 人	—	—

- (注) 1 一般入試の「前期日程」および「後期日程」は、分離・分割方式の区分によります。
- 2 「推薦入試A」は、高等学校を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。
- 3 「推薦入試B」は、高等学校の職業に関する学科若しくは総合学科を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。ただし、工業に関する科目を20単位以上取得した者または取得見込みの者に限ります。なお「推薦入試A」と「推薦入試B」の併願はできません。
- 4 「推薦入試C」は、高等学校を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とし、「推薦入試A」および「推薦入試B」の出願資格に付されている地域等の条件を付さないものとします。なお「推薦入試A」と「推薦入試C」の併願はできません。
- 5 特別入試の合格者数は、試験結果によって、募集人員を下回る場合があります。
- 6 環境科学部環境政策・計画学科は、推薦入試A、推薦入試Cの募集区分において、合格者が募集人員に満たない場合は、学科の推薦入試募集人員(12名)に達するまで、各区分の人員を超えて合格者を決定する場合があります。

IV 一般選抜入学試験（一般入試）

1 出願資格

平成 31 年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当するものです。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および平成 31 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および平成 31 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成 31 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者で平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

具体的に上記(3)に該当するものは次のとおりです。

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑥ その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※上記⑥により出願を希望する者については、出願前に本学の個別の入学資格審査により、その認定を受ける必要があるため、42 ページの「入学資格審査の手続き」により行ってください。

2 出願期間・選抜期日および合格発表

	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
前期日程	平成 31 年 1 月 28 日（月） ～平成 31 年 2 月 6 日（水）	平成 31 年 2 月 25 日 （月）	平成 31 年 3 月 8 日 （金）
後期日程		平成 31 年 3 月 12 日 （火）	平成 31 年 3 月 22 日 （金）

3 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験および個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

なお、大学入試センター試験で指定した教科・科目を受験しなかった場合は、出願しても失格となり、合格者となることができません。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別入試 方法等											
		教科	科目名等	教科	科目名等	時間	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国 語	総合		実技	配点 合計									
環境科学部 環境生態 学科 30人 前期 11 後期 10 その他 9	前期 2月25日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター 試験	100	100	100	100	200			600	推薦 帰国子女 外国人 追加合格									
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)	理	「物基・物」、「化基・化」、 「生基・生」 から2	120											個別学力 検査							400	
	数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 (注2)(注3)																	200	200					
	理	「物」、「化」、「生」、「地学」から2																							
		外	「英」(注1) [5教科6科目]												1,000										
	後期 3月12日	国	「国」	理	「物基・物」、「化基・化」、 「生基・生」 から2	120	センター 試験	100	50	100	100	200			550										
地歴 公民		「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)																							
数		「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 (注2)(注3)								400					400										
		理	「物」、「化」、「生」、「地学」から2																						
		外	「英」(注1) [5教科6科目]					100	50	100	500	200			950										
環境科学部 環境政策・ 計画学科 40人 前期 16 後期 12 その他 12	前期 2月25日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 (注4)	120	センター 試験	100	100	200	100	100			600	推薦 帰国子女 外国人 追加合格									
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)	外	「英語」(注5)												90	個別学力 検査							200
		数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から2 (注2)		※2教科とも解答することができ、その場 合は得点の高い教科を採用する。																*200		*200		
	理	「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 (注3)																							
		外	「英」(注1) [5教科6(7)科目]					100	100	*400	100	*300			800										
	後期 3月12日	国	「国」	その他	総合問題 (文章、図などを材料に、論述や計算 などによる問題理解力、表現力の考 査を行う。)	90	センター 試験	100	100	200	100	100			600										
地歴 公民		「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)																							
数		「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から2 (注2)																				400		400	
		理	「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 (注3)																						
		外	「英」(注1) [5教科6(7)科目]					100	100	200	100	100	400		1,000										

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特別入試 方法等	
		教科	科目名等	教科	科目名等	時間	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	総合		実技
環境科学部 環境建築 デザイン 学科 50人 前期 25 後期 15 その他 10	前期 2月25日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター試験	100	100	100	200	100			600
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫」「政経」「倫・政経」から1 (注3)	理 外	「物基・物」 「英語」(注5)	120	個別学力 検査			200	200	200			600
	後期 3月12日	理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学」から2 「英」(注1)	その他	造形実技 (基礎造形、デッサンなどの実技により、空間に関わる理解力、構想力、創造力、構成力、表現力をみる。)	120	センター試験	100	100	100	200	100			600
環境科学部 生物資源 管理学科 60人 前期 30 後期 18 その他 12	前期 2月25日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター試験	200	100	100	100	200			700
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫」「政経」「倫・政経」から1 (注3)	理 外	「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から1	120	個別学力 検査			200	200				400
	後期 3月12日	理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学」から2 「英」(注1)	その他	造形実技 (基礎造形、デッサンなどの実技により、空間に関わる理解力、構想力、創造力、構成力、表現力をみる。)	120	センター試験	100	100	100	200	100			900
		数	「数Ⅰ」「数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター試験	200	100	100	100	200			700
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫」「政経」「倫・政経」から1 (注3)	理 外	「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から1	120	個別学力 検査			200	200				400
		理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学」から2 「英」(注1)	その他	造形実技 (基礎造形、デッサンなどの実技により、空間に関わる理解力、構想力、創造力、構成力、表現力をみる。)	120	センター試験	100	100	100	200	100			900
		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター試験	200	100	100	100	200			700
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫」「政経」「倫・政経」から1 (注3)	理 外	「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から1	120	個別学力 検査			200	200				400
		理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学」から2 「英」(注1)	その他	造形実技 (基礎造形、デッサンなどの実技により、空間に関わる理解力、構想力、創造力、構成力、表現力をみる。)	120	センター試験	100	100	100	200	100			900

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別入試 方法等	
		教科	科目名等	教科	科目名等	時間	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国 語		面接
工学部 材料科学科 50人 前期 20 後期 20 その他 10	前期 2月25日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター 試験	100	100	200	200	250		850
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)	理 その他	「物基・物」、「物・物・物」(注4) (面接は、当日の面接試験前に発表 するテーマについて、グループ討論 の形式で行います。なお、テーマはア ドミッション・ポリシーに即した内容と します。)		20	個別学力 検査			200	300	段階評価 (注7)	500
	外	「英」(注1)	[5教科7科目]	外			計	100	100	400	500	250		1,350
	後期 3月12日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター 試験	100	100	200	200	250		850
地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)	理 その他	「物基・物・物・物」(注4) (面接は、当日の面接試験前に発表 するテーマについて、グループ討論 の形式で行います。なお、テーマはア ドミッション・ポリシーに即した内容と します。)	20	個別学力 検査				200	300	段階評価 (注7)	500		
		外	「英」(注1)	[5教科7科目]	外		計	100	100	400	500	250		1,350
工学部 機械システム 工学科 50人 前期 25 後期 15 その他 10	前期 2月25日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター 試験	100	100	200	200	200		800
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)	理 その他	「物基・物」		20	個別学力 検査			200	200		400
	外	「英」(注1)	[5教科7科目]	外			計	100	100	400	400	200		1,200
	後期 3月12日	国	「国」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」(注4)	120	センター 試験	100	100	200	200	200		800
地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)	理 その他	「物基・物」	20	個別学力 検査				200	300		500		
		外	「英」(注1)	[5教科7科目]	外		計	100	100	400	500	200		1,300

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別入試 方法等		
		教科	科目名等	教科	科目名等	時間	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国 語	総合		実技	配点 合計
人間文化 学部 生活学 学科 30人 前期 15 後期 9 その他 6	前期 2月25日	国	「国」	国	「国語総合・現代文B」(注6) 「英語」(注5)	60	センター 試験	100	100	100	100	100			500	推薦 外国人 女子 追加 合格
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」から1(注3)	外	「数I」、「数II」、「簿」、「情報」から1(注2)(注3) 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1(注3) 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1(注1) [5教科5(6)科目]	90	個別学力 検査	200				200			400	
		数 理 外	「数I」、「数II」、「簿」、「情報」から1(注2)(注3) 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1(注3) 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1(注1) [5教科5(6)科目]		計	300	100	100	100	300	900					
人間文化 学部 生活学 学科 30人 前期 15 後期 9 その他 6	後期 3月12日	国	「国」	その他	デッサン (形の表現力・観察力・創作力 解力を鉛筆描写によって総合的 にみる。)	180	センター 試験	*100	*100	*100	*100	100			400	推薦 外国人 女子 追加 合格
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「備・政経」から1 「数I」、「数II」、「簿」、「情報」から1(注2) 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1		計	300										
		数 理 外	「数I」、「数II」、「簿」、「情報」から1(注2) 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1(注1) [4教科4(5)科目]		計	*100	*100	*100	*100	700						
人間文化 学部 生活学 学科 30人 前期 15 後期 9 その他 6	前期 2月25日	国	「国」	理	「化基・化」 「英語」(注5)	120	センター 試験	100	100	100	100	100			500	推薦 外国人 女子 追加 合格
		地歴 公民	「世B」、「日B」、「地理B」、「倫・政経」から1(注3)	外	「数I・数A」、「数II・数B」、「簿」、「情報」から1(注2)(注3) 「物」、「化」、「生」から1(注3) 「英」(注1) [5教科5科目]	90	個別学力 検査				200	200			400	
		数 理 外	「数I・数A」、「数II・数B」、「簿」、「情報」から1(注2)(注3) 「物」、「化」、「生」から1(注3) 「英」(注1) [5教科5科目]		計	100	100	100	300	900						
人間文化 学部 生活学 学科 30人 前期 15 後期 9 その他 6	後期 3月12日	国	「国」	理	「物基・物」、「化基・化」 「生基・生」から1	120	センター 試験	50	50	100	100	200			500	推薦 外国人 女子 追加 合格
		地歴 公民	「世B」、「日B」、「地理B」、「倫・政経」から1(注3)	外	「数I・数A」、「数II・数B」、「簿」、「情報」から1(注2)(注3) 「物」、「化」、「生」から1(注3) 「英」(注1) [5教科5科目]		個別学力 検査				200			200		
		数 理 外	「数I・数A」、「数II・数B」、「簿」、「情報」から1(注2)(注3) 「物」、「化」、「生」から1(注3) 「英」(注1) [5教科5科目]		計	50	50	100	300	700						

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別入試 方法等		
		教科	科目名等	教科	科目名等	時間	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	総合	実技	小論文		配点 合計	
人間文化 学部 人間関係 学科 30人 前期 15 後期 9 その他 6	前期 2月25日	国	「国」	国	「国語総合・現代文B」(注6) 「英語」(注5)	60 90	センター 試験	100	100	100	100	100				500	推薦 帰国子女 外国人 追加合格	
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫・政経」 から1 (注3)	外												400		
		教 理 外	「教I」「教A」「教J」「教II」 「教II・教B」「簿」「情報」 から1 (注2)(注3) 「物基」「化基」「生基」「地基」から2 または「物」「化」「生」「地学」から1 (注3) 「英」「独」「仏」「中」「韓」 から1 (注1) [5教科5(6)科目]															900
人間文化 学部 国際コミュ ニケーション 学科 50人 前期 25 後期 15 その他 10	後期 3月12日	国	「国」	その他	小論文	120	センター 試験	*100	*100	*100	*100	100				300	推薦 帰国子女 外国人 追加合格	
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫・政経」 から1 「教I」「教A」「教J」「教II」 「教II・教B」「簿」「情報」 から1 (注2) 「物基」「化基」「生基」「地基」から2 または「物」「化」「生」「地学」から1 「英」「独」「仏」「中」「韓」 から1 (注1) [3教科3(4)科目]													200		
		教 理 外	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫・政経」 から1 (注3) 「教I」「教A」「教J」「教II」 「教II・教B」「簿」「情報」 から1 (注2) 「物基」「化基」「生基」「地基」から2 または「物」「化」「生」「地学」から1 「英」「独」「仏」「中」「韓」 から1 (注1) [3教科3(4)科目]															500
人間文化 学部 国際コミュ ニケーション 学科 50人 前期 25 後期 15 その他 10	前期 2月25日	国	「国」	国	「国語総合・現代文B」(注6) 「英語」(注5)	60 90	センター 試験	100	100	*100	*100	250				550	推薦 帰国子女 外国人 追加合格	
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫・政経」 から1 (注3)	外												400		
		教 理 外	「教I」「教A」「教J」「教II」 「教II・教B」「簿」「情報」 から1 (注2) 「物基」「化基」「生基」「地基」から2 または「物」「化」「生」「地学」から1 「英」「独」「仏」「中」「韓」 から1 (注1) [4教科4(5)科目]															950
人間文化 学部 国際コミュ ニケーション 学科 50人 前期 25 後期 15 その他 10	後期 3月12日	国	「国」	その他	小論文	120	センター 試験	100	100			250				450	推薦 帰国子女 外国人 追加合格	
		地歴 公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫・政経」 から1 (注3)	外														200
		教 理 外	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫・政経」 から1 (注3) 「英」(注1) [3教科3科目]															650

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等 の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特別入試 方法等	
		教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	総合	実技		面接
人間看護 学部 人間看護 学科 70人 前期 40 後期 10 その他 20	前期 2月25日	国	「国」	外	「英語」(注6)	センター 試験	100	100	100	100	100				500
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)			個別学力 検査					100				100
		教 理 外	「教I」、「教I・教A」、「教II」、 「教II・教B」、「簿」、「情報」 から1 (注2)(注3) 「物基」、「化基」、「生基」 から2 または「物」、「化」、「生」 から1 (注3) 「英」(注1) [5教科5(6)科目]			計	100	100	100	100	200				600
	後期 3月12日	国	「国」	その他	面接(グループ)	センター 試験	100	100	100	100	200				600
		地歴 公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 (注3)			個別学力 検査							50		50
		教 理 外	「教I」、「教I・教A」、「教II」、 「教II・教B」、「簿」、「情報」 から1 (注2)(注3) 「物基」、「化基」、「生基」 から2 または「物」、「化」、「生」 から1 (注3) 「英」(注1) [5教科5(6)科目]			計	100	100	100	100	200				650

V 特別入試

A 推薦入試

本学には、地域等の条件を付す【推薦入試A】と【推薦入試B】に加えて、地域等の条件を付さない【推薦入試C】の3つの推薦入試があります。

1 出願資格

【推薦入試A・推薦入試B】

次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としてします。

ただし、環境科学部環境政策・計画学科、環境科学部環境建築デザイン学科、工学部材料科学科、工学部機械システム工学科、工学部電子システム工学科、人間文化学部生活デザイン学科、人間文化学部生活栄養学科を志願する者については、平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し、受理された者であって、次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としてします。

(1) 卒業等の条件・・・次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者
- ② 「推薦入試B」は、高等学校の職業に関する学科若しくは総合学科を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者で、工業に関する科目を20単位以上を取得した者または取得見込みの者に限ります
- ③ 通常の課程による12年の学校教育を平成30年度中に修了または修了見込みの者
- ④ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成30年度中に修了または修了見込みの者
- ⑤ 各種学校を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの

※ (1)の⑤により出願を希望する者については、出願前の平成30年10月12日(金)までに教務課入試室(電話 0749-28-8217・8243)へ連絡し、入学資格審査を受けてください。

(2) 地域等の条件・・・次のいずれかに該当する者

- ① 滋賀県内の学校を平成30年度中に卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者
- ② 入学の1年前(平成30年4月1日)から引き続き本人または保護者(親権者)が滋賀県内に居住している者

(3) 学科に対する適性の条件

人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としてします。

【推薦入試C】

次の(1)～(2)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は必ず本学に入学することを確約できる者としてします。

ただし、環境科学部環境政策・計画学科、人間文化学部生活デザイン学科を志願する者については、平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し、受理された者であって、次の(1)～(2)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としてします。

(1) 卒業等の条件・・・次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を平成30年度中に修了または修了見込みの者
- ③ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成30年度中に修了または修了見込みの者

- ④ 各種学校を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

※ (1)の④により出願を希望する者については、出願前の平成 30 年 10 月 12 日 (金) までに教務課入試室 (電話 0749-28-8217・8243) へ連絡し、入学資格審査を受けてください。

(2) **学科に対する適性の条件**

人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者 とします。

2 推薦人数

出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入試 A・B・C を含め 2 名までとします。ただし、人間看護学科は 3 名までです。

3 出願期間・選抜期日および合格発表

学部名	出願期間	選抜期日	合格発表
環境科学部 工学部 人間文化学部 人間看護学部	平成 30 年 11 月 1 日 (木) ~ 平成 30 年 11 月 8 日 (木)	平成 30 年 11 月 25 日 (日)	(総合問題を課す学部・学科および推薦入試 C の環境建築デザイン学科) 平成 30 年 12 月 11 日 (火) (大学入試センター試験を課す学部・学科) 平成 31 年 2 月 13 日 (水)

4 選抜方法

【推薦入試 A・推薦入試 B】

学部・学科名	選抜方法
環境科学部 環境生態学科 生物資源管理学科 人間文化学部 地域文化学科 人間関係学科 国際コミュニケーション学科 人間看護学部 人間看護学科	大学入試センター試験を免除し、総合問題および評定平均値を含む調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
環境科学部 環境政策・計画学科 環境建築デザイン学科 工学部 材料科学科 機械システム工学科 電子システム工学科 人間文化学部 生活デザイン学科 生活栄養学科	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および評定平均値を含む調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。

【推薦入試C】

学部・学科名	選 抜 方 法
環境科学部 環境生態学科 人間文化学部 地域文化学科	大学入試センター試験を免除し、総合問題および 評定平均値を含む調査書などに基づく面接の結果を 総合して選抜します。
環境科学部 環境政策・計画学科 人間文化学部 生活デザイン学科	大学入試センター試験を課し、大学入試センター 試験の成績および評定平均値を含む調査書などに基 づく面接の結果を総合して選抜します。
環境科学部 環境建築デザイン学科	評定平均値を含む調査書などに基づく面接の結果 により選抜します。

(1) 試験および面接の時間

- ① 総合問題 120分
- ② 個別面接 10分程度（口頭試問を実施する場合を除く）
- ③ グループ面接 30分程度

(2) 試験科目・面接の方法・配点

【推薦入試A】

学部	学 科	試験科目 (配点)	面接方法 (配点)	備 考
環 境 科 学 部	環境生態学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	
	環境政策・計画学科	センター試験 (600)	個別面接 (600)	注1
	環境建築デザイン学科	センター試験 (600)	個別面接 (600)	注1
	生物資源管理学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	
工 学 部	材料科学科	センター試験 (600)	個別面接 (200)	注1、注2
	機械システム工学科	センター試験 (800)	個別面接 (200)	注1
	電子システム工学科	センター試験 (800)	個別面接 (200)	注1
人 間 文 化 学 部	地域文化学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2
	生活デザイン学科	センター試験 (400)	個別面接 (200)	注1、注2
	生活栄養学科	センター試験 (450)	個別面接 (200)	注1
	人間関係学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	
	国際コミュニケーション学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2
人間看護学部	人間看護学科	総合問題 (200)	グループ面接 (100)	注3

【推薦入試B】

学部	学 科	試験科目 (配点)	面接方法 (配点)	備 考
工 学 部	材料科学科	センター試験 (600)	個別面接 (200)	注1、注2
	機械システム工学科	センター試験 (700)	個別面接 (300)	注1、注4
	電子システム工学科	センター試験 (800)	個別面接 (400)	注1、注2

【推薦入試C】

学部	学 科	試験科目 (配点)	面接方法 (配点)	備 考
環 境 科 学 部	環境生態学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	
	環境政策・計画学科	センター試験 (600)	個別面接 (600)	注1
	環境建築デザイン学科		個別面接 (100)	注5
人 間 文 化 学 部	地域文化学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2
	生活デザイン学科	センター試験 (400)	個別面接 (200)	注1、注2

注1 大学入試センター試験の利用教科・科目は別表1 (30～32 ページ) のとおりです。

注2 個別面接時に志望する学科のアドミッション・ポリシーに沿った口頭試問を実施します。

注3 グループ面接は、当日の面接試験前に発表するテーマについて、グループ討論の形式で行います。

注4 工学部機械システム工学科(推薦入試B)は、個別面接時に数学および物理に関する口頭試問を実施します。

注5 環境建築デザイン学科(推薦入試C)は個別面接時に、建築・デザインに関わる作品等これまでの活動成果について、5分間のプレゼンテーションを行っていただきます。活動成果を具体的に表現するものを面接時に持参してください。なお、建築・デザインに関わる顕著な実績(例えば、全国規模のコンクール受賞など)があれば、積極的にプレゼンテーションに加えてください。

(3) 試験科目の内容

総合問題は、英語力を問う設問が出題されるほか、志望する学科において履修上必要と考えられる基礎的な学力を測る設問が出題されます。

(別表1) 平成31年度入学者特別選抜における大学入試センター試験利用教科・科目 等

【推薦入試A】

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等					大学入試センター試験の配点等				
		国語	歴史 公民	数学	理科	外国語	国語	歴史 公民	数学	理科	外国語
環境科学部	環境政策・計画学科	「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」	から1 (注3)	から2 (注2)	から1 (注3)	100	100	200	100	100	600
		「数I」、「数I・数A」、「数II」、「数II・数B」、「簿」、「情報」 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 (注3) 「英」(注1)				[5教科6(7)科目]					
工学部	材料科学科	「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」	から1 (注3)	から1 (注2)	から1 (注3)	100	100	100	200	100	600
		「数I」、「数I・数A」、「数II」、「数II・数B」、「簿」、「情報」 「物」、「化」、「生」、「地学」から2 「英」(注1)				[5教科6科目]					
工学部	機械システム工学科	「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」	から1 (注3)	から1 (注2)	から1 (注3)	50	50	200	200	100	600
		「数I・数A」と 「数II・数B」、「簿」、「情報」 「物」と「化」 「英」(注1)				[5教科7科目]					
工学部	機械システム工学科	「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」	から1 (注3)	から1 (注2)	から1 (注3)	100	100	200	200	200	800
		「数I・数A」と 「数II・数B」、「簿」、「情報」 「物」と「化」 「英」(注1)				[5教科7科目]					

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等					大学入試センター試験の配点等						
		国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	合計	
工学部	電子システム工学科	「国」	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物」と「化」 「英」（注1） [5教科7科目]	100	100	200	200			200	800		
		国語 地歴 公民 数学 理科 外国語											
人間文化学部	生活デザイン学科	「国」		「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1（注1） [4教科4(5)科目]	*100	*100	*100	*100			100	400	
		国語 地歴 公民 数学 理科 外国語											
人間文化学部	生活栄養学科	「国」			「世B」、「日B」、「地理B」 「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から2（注2） 「物」、「化」、「生」から2 「英」（注1） [5教科7科目]	100	50	100	100			100	450
		国語 地歴 公民 数学 理科 外国語											

【推薦入試B】

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等					大学入試センター試験の配点等					
		国語	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	合計
工学部	材料科学科	「国」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物」と「化」 「英」（注1）					50		200	250	100	600
	機械システム工学科	「国」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物」 「英」（注1）					100		200	200	200	700
	電子システム工学科	「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」から1（注3） 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物」と「化」 「英」（注1）					100	100	200	200	200	800

【推薦入試C】

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等					大学入試センター試験の配点等					
		国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語
環境科学部	環境政策・計画学科	「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」から1（注3） 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から2（注2） 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1（注3） 「英」（注1）					100	100	200	100	100	600
人間文化学部	生活デザイン学科	「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物基」、「化基」、「生基」、「地基」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1（注1）					*100	*100	*100	*100	100	400

特記事項

大学入試センター試験の利用教科・科目名の表記について

- 1 利用教科名は次のように略しています。
国語→国、地理歴史・公民→地理公民、数学→数、理科→理、外国語→外

- 2 利用科目名は次のように略しています。

「国語」→「国」
「世界史A」→「世A」、「世界史B」→「世B」、「日本史A」→「日A」、「日本史B」→「日B」、「地理A」→「地理A」、「地理B」→「地理B」、
「現代社会」→「現社」、「倫理」→「倫」、「政治・経済」→「政経」、「倫理、政治・経済」→「倫・政経」
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」、「数学Ⅰ・数A」、「数学Ⅱ・数B」→「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」、「簿記・会計」→「簿」、「情報関係基礎」→「情報」
「物理基礎」→「物基」、「化学基礎」→「化基」、「生物基礎」→「生基」、「地学基礎」→「地基」、「物理」→「物」、「化学」→「化」、「生物」→「生」、「地学」→「地学」
「英語」→「英」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、「中国語」→「中」、「韓国語」→「韓」

- 3 次の例のように利用科目名、利用方法を示しています。

【例】「物理」、「化学Ⅰ」、「生物」から1科目を選択 → 「物」「化」「生」から1

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等欄について

- 1 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- 2 大学入試センター試験の外国語の「英語」は「筆記(200点満点)」と「リスニング(50点満点)」の合計(250点満点)を学科の傾斜配点に換算して利用します。

注意事項

【大学入試センター試験の利用教科・科目等】欄

(注1) 外国語の「英語」はリスニングを含みます。(大学入試センターからリスニングを免除された者を除く)

(注2) 「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限ります。

(注3) 指定された教科(又は科目)の範囲内で、必要とする教科(又は科目)数を超えて受験している場合、得点の高い教科(又は科目)の得点を採用します。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科②」において受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

B 帰国子女特別入試

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する者です。

ただし、環境科学部環境政策・計画学科、環境科学部環境建築デザイン学科、工学部材料科学科、工学部機械システム工学科、工学部電子システム工学科、人間文化学部生活デザイン学科、人間文化学部生活栄養学科を志願する者については、平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し、受理された者で、日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者
- (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年に編入学を認められた者で、平成31年3月卒業見込みの者
- (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成29年4月1日以降に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの
- (4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年4月1日以降に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの
- (5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年4月1日以降に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの
- (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において、大学入学資格として認められているGCE Aレベル資格を平成29年4月1日以降に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者

(注) (1)および(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなされません。

2 出願期間・選抜期日および合格発表

学 部 名	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
環境科学部 工 学 部 人間文化学部 人間看護学部	平成30年11月1日(木)～ 平成30年11月8日(木)	平成30年 11月25日(日)	(総合問題を課す学部・学科) 平成30年12月11日(火) (大学入試センター試験を課す学部・学科) 平成31年2月13日(水)

3 選抜方法

学部・学科名	選抜方法
環境科学部 環境生態学科 生物資源管理学科 人間文化学部 地域文化学科 人間関係学科 国際コミュニケーション学科 人間看護学部 人間看護学科	大学入試センター試験を免除し、志望する各学科において履修上必要と考えられる基礎学力を測る総合問題および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
環境科学部 環境政策・計画学科 環境建築デザイン学科 工学部 材料科学科 機械システム工学科 電子システム工学科 人間文化学部 生活デザイン学科 生活栄養学科	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。

(1) 試験科目・面接の方法・配点

学部	学科	試験科目 (配点)	面接方法 (配点)	備考
環境科学部	環境生態学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2
	環境政策・計画学科	センター試験 (600)	個別面接 (600)	注1
	環境建築デザイン学科	センター試験 (400)	個別面接 (400)	注1
	生物資源管理学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2
工学部	材料科学科	センター試験 (600)	個別面接 (200)	注1、注3
	機械システム工学科	センター試験 (800)	個別面接 (200)	注1
	電子システム工学科	センター試験 (800)	個別面接 (200)	注1
人間文化学部	地域文化学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2、注3
	生活デザイン学科	センター試験 (300)	個別面接 (150)	注1、注3
	生活栄養学科	センター試験 (300)	個別面接 (100)	注1、注3
	人間関係学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2
	国際コミュニケーション学科	総合問題 (100)	個別面接 (100)	注2、注3
人間看護学部	人間看護学科	総合問題 (200)	個別面接 (100)	注2

注1 大学入試センター試験の利用教科・科目は別表2 (36~37ページ) のとおりです。

注2 総合問題の試験時間は、120分とし、英語力を問う設問を含みます。

注3 工学部材料科学科、人間文化学部地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科および国際コミュニケーション学科は、個別面接時に志望する学科のアドミッション・ポリシーに沿った口頭試問を実施します。

【帰国子女特別入試】

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等				大学入試センター試験の配点等				
		国語	数学	理科	外国語	国語	数学	理科	外国語	合計
環境科学部	環境政策・計画学科	「国」 「数Ⅰ」、「数Ⅱ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から2（注2） 「英」（注1）				200	200		200	600
	環境建築デザイン学科	「数Ⅰ」、「数Ⅱ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2）（注3） 「物」、「化」、「生」、「地学」から2 「英」（注1）					100	200	100	400
工学部	材料科学科	「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物」と「化」 「英」（注1）					200	250	150	600
		「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物」と「化」 「英」（注1）						300	300	800
	電子システム工学科	「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」から1（注2） 「物」と「化」 「英」（注1）						300	300	800

C 私費外国人留学生特別入試

1 出願資格

次の(1)、(2)、(3)の要件をすべて満たしている方です。

- (1) 日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 本学において個別の入学資格審査により上記に準ずる資格を有すると認められた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの
- (2) 在留資格が「留学」である者、または入学時に「留学」を取得できる見込みの者
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成30年度第1回日本留学試験(6月)を受験した者または平成30年度第2回日本留学試験(11月)に出願して受理された者

※1 (1)の②により出願を希望する者については、出願前の平成30年10月12日(金)までに教務課入試室(電話0749-28-8217・8243)へ連絡し、入学資格審査を受けてください。

※2 日本留学試験の利用教科・科目等については、別表3「日本留学試験の利用教科・科目等一覧」(39ページ)を参照し、必要な科目を受験してください。

2 出願期間・選抜期日および合格発表

学部名	出願期間	選抜期日	合格発表
環境科学部 工学部 人間文化学部	平成30年11月1日(木)～ 平成30年11月8日(木)	平成30年 11月25日(日)	平成31年1月22日(火)

3 選抜方法

大学入試センター試験を免除し、平成30年度日本留学試験(第1回または第2回)の成績、出願書類ならびに本学が行う学力検査および面接の結果を総合して選抜します。

ただし、環境科学部環境建築デザイン学科は、平成30年度日本留学試験(第1回または第2回)の成績、出願書類および面接の結果を総合して選抜します。

(学力検査の内容)

環境科学部 (環境生態学科、生物資源管理学科) ……総合問題(120分)

※総合問題には、英語力を問う設問を含みます。

(環境政策・計画学科) ……英語(60分)

工学部 (材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科) ……英語(60分)

人間文化学部 (地域文化学科、人間関係学科) ……総合問題(120分)

※総合問題には、英語を課しません。

(国際コミュニケーション学科) ……総合問題(120分)

※総合問題には、英語力を問う設問を含みます。

(生活デザイン学科) ……デッサン(120分)

※デッサンは、形の観察力、表現力、構成力を鉛筆描写によって表現する。

(生活栄養学科) ……英語(60分)

※工学部材料科学科、人間文化学部地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科および国際コミュニケーション学科は、面接時に志望する学科のアドミッション・ポリシーに沿った口頭試問を実施します。

4 その他

日本留学試験の詳細については、下記へ照会してください。

独立行政法人 日本学生支援機構（留学生事業部留学試験課）

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 TEL 03-6407-7457

別表3 日本留学試験の利用教科・科目等一覧

日本留学試験の利用教科・科目等一覧

	利用教科・科目						出題言語	英語科目の対応	
	日本語	総合科目	数 学	理 科					
				物理	化学	生物			
環境科学部	環境生態学科	○	△	コース自由選択	2科目自由選択			自由選択	個別学力試験(総合問題に英語問題を入れる。)
	環境政策・計画学科	○	○	コース自由選択	2科目自由選択			日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	環境建築デザイン学科	○	△	コース2	2科目自由選択			日本語	英語は課さない。
	生物資源管理学科	○	○	コース自由選択	2科目自由選択			自由選択	個別学力試験(総合問題に英語問題を入れる。)
工学部	材料科学科	○	△	コース2	○	○	△	日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	機械システム工学科	○	△	コース2	○	○	△	日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	電子システム工学科	○	△	コース2	○	○	△	日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
人間文化学部	地域文化学科	○	○	△			△	日本語	英語は課さない。
	生活デザイン学科	○	○	コース自由選択	△			日本語	英語は課さない。
	生活栄養学科	○	△	△	○	○	○	日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	人間関係学科	○	○	△			△	日本語	英語は課さない。
	国際コミュニケーション学科	○	○	△			△	日本語	個別学力試験(総合問題に英語問題を入れる。)

注意) 環境政策・計画学科、生物資源管理学科では、総合科目か理科のどちらかを選択すること。

VI 心身に障がい等のある入学志願者との事前相談

心身に障がい等がある入学志願者は、受験上および修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願の前に本学教務課まで相談してください。

また、一般入試により本学へ入学を志願する受験生のうち、体幹および両上下肢の機能障害が著しい者で、大学入試センター試験で代筆解答を希望する者は、大学入試センター試験出願以前のできるだけ早い時期に、本学教務課入試室へ相談してください。

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学 教務課 入試室
TEL 0749-28-8217・8243 FAX 0749-28-8472

VII 学生募集要項の発表時期および請求方法

この要項のほか、出願に必要な学生募集要項は次のとおり発表・配布の予定です。

なお、学生募集要項（一般入試）はテレメールまたはモバっちょを使用して請求することができます。

1 本学へ直接請求する場合

学生募集要項を本学に直接請求する場合は、封筒の表に下記の「募集要項請求の種類」の中から該当する名称を朱書きし、裏には住所、氏名、連絡先電話番号を明記して、レターパックライト（返信先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入したもの）または返信用封筒（角形2号に返信先の郵便番号、住所、氏名を明記して、下記送料分の切手を貼付したもの）を同封の上、請求してください。

募集要項請求の種類	配布時期	送 料
学生募集要項（一般入試）＋大学案内	11月上旬	570円
学生募集要項（特別選抜）＋大学案内	8月中旬	380円
学生募集要項（一般入試）	11月上旬	380円
学生募集要項（特別選抜）	8月中旬	250円

※滋賀県内の高等学校等に対しては、推薦入試の学生募集要項（特別選抜）を、別途送付します。

請求先 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学教務課入試室 宛
TEL 0749-28-8217・8243

2 テレメールを使用して請求する場合(配布開始は11月上旬)

①次のいずれかの方法で、テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・携帯)		自動音声応答電話の場合
	http://telemail.jp	IP 電話 (24 時間受付) 050-8601-0101
	バーコード ※スマホ・ケータイで左のバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

※本学のホームページ(<http://www.usp.ac.jp>)もテレメールのサイトへリンクされています。

②請求を希望する資料請求番号(6桁)を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料) (予定金額)
学生募集要項【一般入試】	584502	215円
学生募集要項【一般入試】+大学案内	544502	250円

③ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

(テレメールのパスワードをお持ちの場合は、登録不要です。)

④請求から1~2日で資料が届きます。

※発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※資料は発送日の翌日・翌々日に届きます。夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。なおお届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。

※随時発送の資料が1週間以上経過しても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまで問い合わせてください。

■テレメールでの資料請求に関する問合せ先

テレメールカスタマーセンター

【IP 電話】050-8601-0102 (受付時間 9:30~18:00)

3 モバっちょを使用して請求する場合(配布開始は11月上旬)

携帯電話、スマートフォン、パソコンから請求できます。

下記 URL にアクセスするか、スマホ・携帯電話で下記バーコードを読み取ってください。



<http://djc-mb.jp/usp3/>



【料金支払い方法】

①請求時払い 携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。(支払手数料別途50円必要です。)

※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合は、コンビニ後払いを選択してください。

③後払い 資料到着後、コンビニでお支払いください。(支払手数料は別途126円必要です。)

■「モバっちょ」での請求方法に関する問合せ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

入学資格審査の手続き

次に該当する者で個別の入学資格審査を希望する者は、必ず申請する前に本学教務課入試室に相談してください。

1 申請資格

本学の個別の入学資格審査を受けることができる者は、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 我が国における12年の学校教育の高等学校に対応する外国人学校の課程を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
 - (2) 上記以外の者で各種の学校等における学習歴や単位修得の実績等が高等学校卒業と同等以上であると認められる者
- なお、いずれの場合も入学しようとする年度の開始までに18歳に達した者とする。

2 申請期日

平成30年8月31日（金）まで（午後5時必着）

※ ただし、大学入試センター試験を受験した者で、新たに本学の受験を希望するものに限って、平成31年1月23日（水）（午後5時必着）まで受け付けます。

3 申請書類

- (1) 申請者が上記の申請資格（1）に該当する場合

- ①入学資格認定申請書（本学所定の用紙）
- ②卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
- ③調査書または成績証明書等（出身学校等の長が作成し厳封したもの）
- ④出身学校等の教育内容等が確認できる学則、カリキュラム、授業時間数一覧等で、修業年限、教育課程、授業時間数、授業科目、必要な単位数が明記されているもの
- ⑤返信用封筒（長形3号封筒に申請者の住所、氏名を明記し、書留速達郵便による返信用切手（792円）を貼付したもの）

- (2) 申請者が上記の申請資格（2）に該当する場合

- ①入学資格認定申請書（本学所定の用紙）
- ②各種の学校等における学習歴や単位修得の実績等が高等学校卒業と同等以上であると確認できる書類。なお、社会においての実務経験があればその事実を確認できる書類も併せて添付すること。（卒業証明書、単位修得証明書、実務経験証明書、技能検査合格証明書等）
- ③出身学校等の教育内容等が確認できる学則、カリキュラム、授業時間数一覧等で、修業年限、教育課程、授業時間数、授業科目、必要な単位数が明記されているもの
- ④返信用封筒（長形3号封筒に申請者の住所、氏名を明記し、書留速達郵便による返信用切手（792円）を貼付したもの）

4 提出先および問い合わせ先

滋賀県立大学 教務課入試室 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

TEL 0749-28-8217・8243

※ 申請書類を郵送する場合は、必ず書留速達とし、封筒表に「入学資格認定申請」と朱書してください。

5 審査方法

滋賀県立大学の専門委員会において、申請者の提出された書類をもって高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを審査します。

なお、提出された書類以外に必要に応じ追加の書類の提出を求めることがあります。

6 審査結果の通知

審査結果は、申請者宛に郵送により通知します。

7 入学者選抜試験の受験について

「滋賀県立大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願し、受験することができます。出願の際は必ずこの「滋賀県立大学入学資格認定書」のコピーを提出してください。

8 その他

この個別の入学資格審査による認定は、入学者選抜とは別個のものです。

平成 31 年度 滋賀県立大学 入学資格審査認定申請書

※整理番号	
平成 年 月 日	
滋賀県立大学長 宛	
貴学への入学を希望しますので、入学にかかる出願資格の認定に必要な所定の書類を添えて申請します。	
ふりがな	
氏 名 男・女	
生年月日 年 月 日生	
現住所	〒 電話 () -
緊急時連絡先	〒 電話 () -
学歴 (小学校または同等の教育施設入学から記入すること)	
	年 月入学～ 年 月 卒業 その他 ()
	年 月入学～ 年 月 卒業 その他 ()
	年 月入学～ 年 月 卒業・卒業見込 その他 ()
学習歴 (専修学校、各種学校等における学習歴や大学の科目履修等の修得単位など個人の学習歴を記入)	
	年 月入学～ 年 月 卒業・卒業見込 その他 ()
	年 月入学～ 年 月 卒業・卒業見込 その他 ()
	年 月入学～ 年 月 卒業・卒業見込 その他 ()
社会における実務経験等	
	年 月 ～ 年 月
	年 月 ～ 年 月
	年 月 ～ 年 月
資格・免許等	
	年 月 日 第 号
	年 月 日 第 号

- (注) 1 学歴、学習歴欄に学校名等を記入する場合は、卒業、卒業見込、その他のいずれかを○で囲み、その他に○を付した場合は () 内に中退等の具体的な内容を記入すること。
- 2 社会における実務経験等欄に記入する場合は、その活動内容、貢献その他特記すべき事項については、証明する書類を添えること。
- 3 資格・免許等欄に記入する場合は、その名称、取得年月日、番号を記入すること。また、そのコピーを添えること。
- 4 ※印欄は記入しないこと。
- 5 記入欄が不足する場合は、この用紙を複写して使用すること。

平成31年度大学入学者選抜方法の概要

平成31年度滋賀県立大学入学者選抜方法等 …… i

平成31年度特別選抜方法等 …… iii

平成31年度滋賀県立大学入学者選抜方法等
 (一般入試、専門高校・総合学科卒業生選抜、アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等	学部・学科名	個別学力検査等										専門高校・総合学科卒業生選抜					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査の日程	備考 欠員の補充の方法等
		実技検査等					2段階選抜					実技検査等							
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	募集人員					
							主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	定員に対する倍率 その他											
環境生態学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
	環境政策・計画学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
	環境建築デザイン学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期日程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
生物資源管理学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格			
	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格			
材料科学科	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格			
	後期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格			
	機械システム工学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
	電子システム工学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
地域文化学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格			
	後期日程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格			
	生活デザイン学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期日程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
	生活栄養学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
人間関係学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格			
	後期日程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格			
	国際コミュニケーション学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期日程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
人間看護学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格			
	後期日程	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格			

(注)各項目について、該当するものに○印、該当しないものに×印を付した。

平成31年度滋賀県立大学入学者選抜方法等(特別選抜)

選抜方法等	推薦入試								帰国子女、社会人等のための特別選抜		備考	
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							推薦入試募集人				
	学部・学科名	個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等								
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する		その他(総合問題)			
環境科学部	環境生態学科	×	○	×	○	×	×	○	9	○	×	
	環境政策・計画学科	○	×	×	○	×	×	×	12	○	×	
	環境建築デザイン学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	
		×	○	×	○	×	×	×	若干名	○	×	
	生物資源管理学科	×	○	×	○	×	×	○	12	○	×	
工学部	材料科学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	
	機械システム工学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	
	電子システム工学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	
人間文化学部	地域文化学科	×	○	×	○	×	×	○	12	○	×	
	生活デザイン学科	○	×	×	○	×	×	×	6	○	×	
	生活栄養学科	○	×	×	○	×	×	×	6	○	×	
	人間関係学科	×	○	×	○	×	×	○	6	○	×	
	国際コミュニケーション学科	×	○	×	○	×	×	○	10	○	×	
人間看護学部	人間看護学科	×	○	×	○	×	×	○	20	○	×	

(注)各項目について、該当するものに○印、該当しないものに×印を付した。

平成 31 年度特別選抜方法等（推薦入試）
（大学入試センター試験免除 その 1）

滋 賀 県 立 大 学

実施学部・学科名	環境科学部（環境生態学科、生物資源管理学科） 人間文化学部（地域文化学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科） 人間看護学部（人間看護学科）
募 集 人 員	【推薦入試 A】 環境科学部 環境生態学科 6 人 生物資源管理学科 12 人 人間文化学部 地域文化学科 12 人 人間関係学科 6 人 国際コミュニケーション学科 10 人 人間看護学部 人間看護学科 20 人
出 願 要 件	<p>次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としてします。</p> <p>(1) 卒業等の条件・・・次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校もしくは中等教育学校を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 30 年度中に修了または修了見込みの者</p> <p>③ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成 30 年度中に修了または修了見込みの者</p> <p>④ 各種学校を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>※ (1)の④により出願を希望する者については、出願前の平成 30 年 10 月 12 日までに教務課入試室（電話 0749-28-8217・8243）へ連絡し、入学資格審査を受けてください。</p> <p>(2) 地域等の条件・・・次のいずれかに該当する者</p> <p>① 滋賀県内の学校を平成 30 年度中に卒業（修了）または卒業（修了）見込みの者</p> <p>② 入学の 1 年前（平成 30 年 4 月 1 日）から引き続き本人または保護者（親権者）が滋賀県内に居住している者</p> <p>(3) 学科に対する適性の条件 人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としてします。 （注） 出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入試 A・B・C を含め 2 名までとします。 ただし、人間看護学科は 3 名までです。</p>
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、志望する各学科において履修上必要と考えられる基礎学力を測る総合問題および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～平成 30 年 11 月 8 日（木）
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 25 日（日）
合 格 発 表 日	平成 30 年 12 月 11 日（火）
そ の 他	詳細は「学生募集要項《特別入試》」による。

平成 31 年度特別選抜方法等（推薦入試）
（大学入試センター試験免除 その 2）

滋賀県立大学

実施学部・学科名	環境科学部（環境生態学科、環境建築デザイン学科） 人間文化学部（地域文化学科）
募集人員	【推薦入試 C】 環境科学部 環境生態学科 3人 環境建築デザイン学科 若干名 人間文化学部 地域文化学科 若干名
出願要件	次の(1)～(2)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としてします。 (1) 卒業等の条件・次のいずれかに該当する者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 30 年度中に修了または修了見込みの者 ③ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成 30 年度中に修了または修了見込みの者 ④ 各種学校を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ※ (1)の⑤により出願を希望する者については、出願前の平成 30 年 10 月 12 日までに教務課入試室（電話 0749-28-8217・8243）へ連絡し、入学資格審査を受けてください。 (2) 学科に対する適性の条件 人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としてします。 （注） 出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入試 A・B・C を含め 2 名までとします。
選抜方法等	(環境科学部 環境生態学科) (人間文化学部 地域文化学科) 大学入試センター試験を免除し、志望する各学科において履修上必要と考えられる基礎学力を測る総合問題および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。 (環境建築デザイン学科) 大学入試センター試験を免除し、調査書などに基づく面接の結果により選抜します。
出願期間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～平成 30 年 11 月 8 日（木）
選抜期日	平成 30 年 11 月 25 日（日）
合格発表日	平成 30 年 12 月 1 日（火）
その他	詳細は「学生募集要項《特別入試》」による。

平成 31 年度特別選抜方法等 (推薦入試)
(大学入試センター試験利用 その 1)

滋 賀 県 立 大 学

実施学部・学科名	環境科学部 (環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科) 工学部 (材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科) 人間文化学部 (生活デザイン学科、生活栄養学科)																								
募 集 人 員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【推薦入試A】</th> <th>【推薦入試B】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境科学部 環境政策・計画学科</td> <td>8人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>環境科学部 環境建築デザイン学科</td> <td>10人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工学部 材料科学科</td> <td>10人</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>工学部 機械システム工学科</td> <td>10人</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>工学部 電子システム工学科</td> <td>10人</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>人間文化学部 生活デザイン学科</td> <td>6人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>人間文化学部 生活栄養学科</td> <td>6人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		【推薦入試A】	【推薦入試B】	環境科学部 環境政策・計画学科	8人	—	環境科学部 環境建築デザイン学科	10人	—	工学部 材料科学科	10人	若干名	工学部 機械システム工学科	10人	若干名	工学部 電子システム工学科	10人	若干名	人間文化学部 生活デザイン学科	6人	—	人間文化学部 生活栄養学科	6人	—
	【推薦入試A】	【推薦入試B】																							
環境科学部 環境政策・計画学科	8人	—																							
環境科学部 環境建築デザイン学科	10人	—																							
工学部 材料科学科	10人	若干名																							
工学部 機械システム工学科	10人	若干名																							
工学部 電子システム工学科	10人	若干名																							
人間文化学部 生活デザイン学科	6人	—																							
人間文化学部 生活栄養学科	6人	—																							
出 願 要 件	<p>平成 31 年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し受理された者で、次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は 必ず本学に入学することを確約できる者とします。</p> <p>(1) 卒業等の条件・・次のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者 ② 「推薦入試 B」は、高等学校の職業に関する学科もしくは総合学科を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者で、工業に関する科目を 20 単位以上を取得した者または取得見込みの者 ③ 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 30 年度中に修了または修了見込みの者 ④ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成 30 年度中に修了または修了見込みの者 ⑤ 各種学校を平成 30 年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの <p>※ (1)の⑤により出願を希望する者については、出願前の平成 30 年 10 月 12 日までに教務課入試室 (電話 0749-28-8217・8243) へ連絡し、入学資格審査を受けてください。</p> <p>(2) 地域等の条件・・次のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 滋賀県内の学校を平成 30 年度中に卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者 ② 入学の 1 年前 (平成 30 年 4 月 1 日) から引き続き本人または保護者(親権者)が滋賀県内に居住している者 <p>(3) 学科に対する適性の条件 人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としてします。 (注) 出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入試 A・B・C を含め 2 名までとします。</p>																								
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。																								
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日 (木) ～平成 30 年 11 月 8 日 (木)																								
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 25 日 (日)																								
合 格 発 表 日	平成 31 年 2 月 13 日 (水)																								
そ の 他	詳細は「学生募集要項《特別入試》」による。																								

平成31年度特別選抜方法等（推薦入試）
（大学入試センター試験利用 その2）

滋賀県立大学

実施学部・学科名	環境科学部 環境政策・計画学科 人間文化学部 生活デザイン学科
募集人員	【推薦入試C】 環境科学部 環境政策・計画学科 4人 人間文化学部 生活デザイン学科 若干名
出願要件	<p>平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し受理された者で、次の(1)～(2)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は必ず本学に入学することを確約できる者とします。</p> <p>(1) 卒業等の条件・次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を平成30年度中に修了または修了見込みの者</p> <p>③ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成30年度中に修了または修了見込みの者</p> <p>④ 各種学校を平成30年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>※ (1)の④により出願を希望する者については、出願前の平成30年10月12日までに教務課入試室（電話0749-28-8217・8243）へ連絡し、入学資格審査を受けてください。</p> <p>(2) 学科に対する適性の条件</p> <p>人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としてします。</p> <p>（注） 出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入試A・B・Cを含め2名までとします。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
出願期間	平成30年11月1日（木）～平成30年11月8日（木）
選抜期日	平成30年11月25日（日）
合格発表日	平成31年2月13日（水）
その他	詳細は「学生募集要項《特別入試》」による。

平成31年度特別選抜方法等（帰国子女）
（大学入試センター試験免除）

滋賀県立大学

実施学部・学科名	環境科学部（環境生態学科、生物資源管理学科） 人間文化学部（地域文化学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科） 人間看護学部（人間看護学科）
募 集 人 員	各学部学科若干名
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する方です。</p> <p>(1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者</p> <p>(2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年に編入学を認められた者で、平成31年3月卒業見込みの者</p> <p>(3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成29年4月1日以降に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年4月1日以降に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年4月1日以降に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において、大学入学資格として認められているGCE Aレベル資格を平成29年4月1日以降に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>（注）（1）および（2）において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなされない。</p>
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、志望する各学科において履修上必要と考えられる基礎学力を測る総合問題および出願書類などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	平成30年11月 1日（木）～平成30年11月8日（木）
選 抜 期 日	平成30年11月25日（日）
合 格 発 表 日	平成30年12月11日（火）
そ の 他	詳細は「学生募集要項《特別入試》」による。

平成 31 年度特別選抜方法等 (帰国子女)
(大学入試センター試験利用)

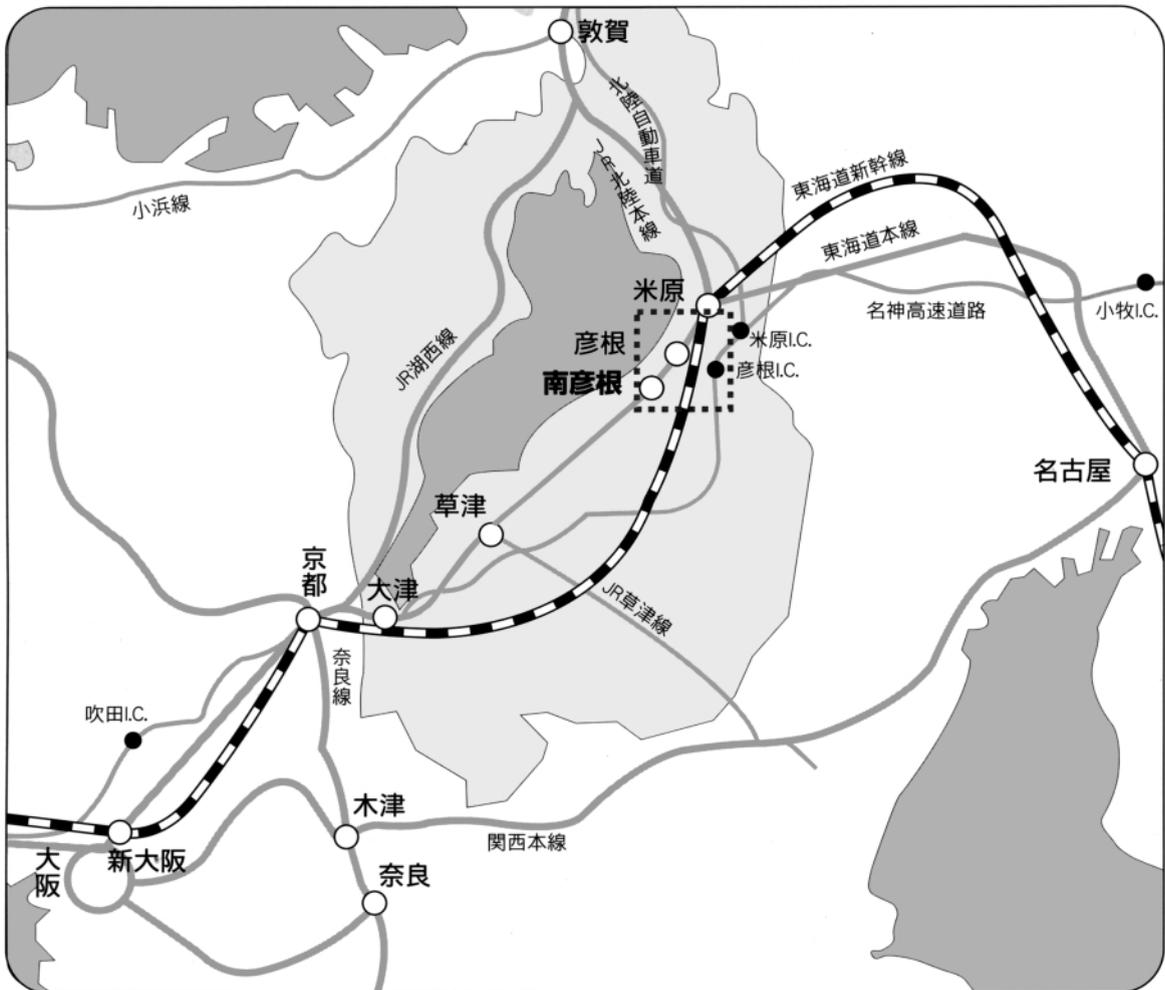
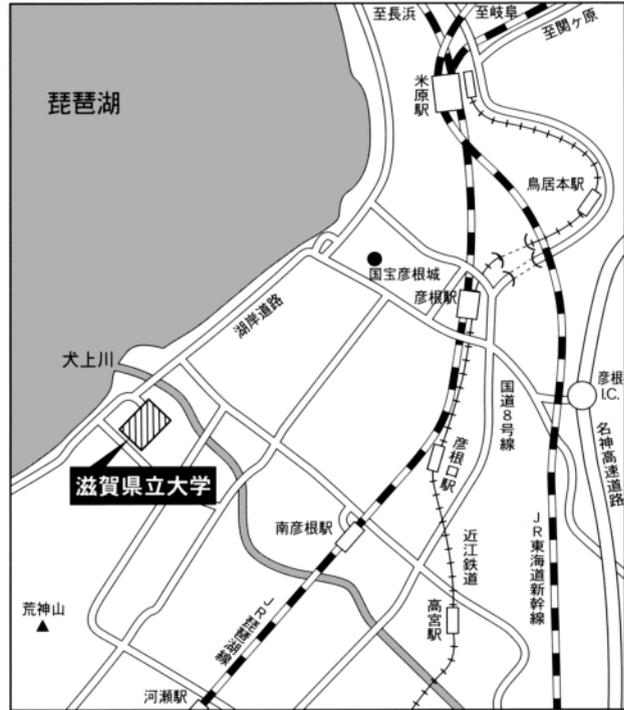
滋賀県立大学

実施学部・学科名	環境科学部 (環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科) 工学部 (材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科) 人間文化学部 (生活デザイン学科、生活栄養学科)
募 集 人 員	各学部学科若干名
出 願 要 件	<p>平成 31 年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し受理された者で、日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する方です。</p> <p>(1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め 2 学年以上継続して学校教育を受け、12 年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2 年以上継続して学校教育を受け、12 年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第 3 学年に編入学を認められた者で、平成 31 年 3 月卒業見込みの者</p> <p>(3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成 29 年 4 月 1 日以降に授与された者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成 29 年 4 月 1 日以降に取得した者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成 29 年 4 月 1 日以降に授与された者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において、大学入学資格として認められている G C E A レベル資格を平成 29 年 4 月 1 日以降に授与された者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者</p> <p>(注) (1) および (2) において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなされない。</p>
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および出願書類などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日 (木) ~ 平成 30 年 11 月 8 日 (木)
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 25 日 (日)
合 格 発 表 日	平成 31 年 2 月 13 日 (水)
そ の 他	詳細は「学生募集要項《特別入試》」による。

大学周辺マップ

交通案内

- JR 南彦根駅からバスで約 15 分
(南彦根駅西口：南彦根県立大学線)
- JR 彦根駅からバスで約 25 分
(彦根駅：彦根県立大学線)
- 名神彦根 IC から大学まで
車で約 20 分 (6.5km)





公立大学法人

滋賀県立大学

THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

Tel. 0749-28-8217・8243 Fax. 0749-28-8472

ホームページアドレス <http://www.usp.ac.jp/>

E-mail: nyushi@office.usp.ac.jp